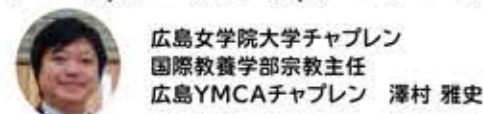


聖書の窓

『行って、あなたも同じようにしなさい』（ルカによる福音書10章37節）



広島女学院大学チャレン 国際教養学部宗教授主任 広島YMCAチャレン 澤村 雅史

世の中にある全ての戦争や差別の根源に、皆さんは何を見出しますか？利己心でしょうか。闘争心でしょうか。暴力性があるのかの歪み、またはキリスト教的にいうと、人間の「罪」ということにあるのでしょうか。

「善いサマリヤ人のたとえ」（ルカ10：25-37）には、イエス様を陥れようとする律法学者が、「わたしの隣人は誰ですか？」と問う場面があります。奇妙なことに聖書は、この質問が「自分を正当化しようとして」（29節）のものであったと記しています。なぜこの質問が、自分を正当化することにつながるのでしょうか？

もしイエス様が「隣人は、あなたの身の回りの人だよ」ともお答えになったとすれば、そのような「隣人」にたいし、彼は完全に愛を行っているかを問うつもりであったのでしょうか。しかしイエス様は、たとえ話という意外な方法でこの質問にお答えになります。強盗に遭って道端に倒れている人、その側を（わざわざ道の反対側を）通り過ぎたサマリヤ人たちが、駆け寄って助けたサマリヤ人が、誰がそのけが人の隣人に「なった」か、とイエス様は問います。「隣人」とは「である」と定めることができるものではなく、「なる」ものなのだ、というのです。

確かに、これこれの人が私の隣人「である」と定めたのが人情です。そして「隣人」の範囲にある人に私たちは親切に振る舞います。お友達にのみ便宜をはかりたいのは、どの国の為政者も同じようです。しかし、そのような「隣人」愛は、非-隣人をつくり出し、そこに差別や憎悪が起る余地が生じます（ここで、ぜひBlack Eyed Peasの「Where is the Love」という曲を聴いてみてください。アリアナ・グランデが自分のコンサートで起きたテロの犠牲者追悼のために行ったチャリティコンサートOne Live Manchesterへの友情出演でも歌われました）。

「これこれの人は私の隣人である」「これこれの国はわが国の隣人（＝同盟国）である」と定めようとする「安全保障」の考え方は平和は決して生まれません。そのような「隣人」愛を乗り越え、隣人の地平を限りなく広げていくことを、イエス・キリストは今日、私たちに求めておられます。

YMCA礼拝の予定 (広島)

8月18日(金) / 9月15日(金) 時間13:30-14:15

どなたでもご参加いただけます。共に祈りの時をもちましょ。

春のプログラム報告

180名が集った 会員大会2016-2017

2017年6月4日(日)



6月4日(日) 広島YMCA会員大会が開催されました。今年度のテーマはユースエンパワメント!! 澤村チャレン・YMCAクワイヤーの開会礼拝の後、ボランティアユースが参加した「熊本ボランティアワークキャンプ」や「フィリピンワークキャンプ」について自分達で考えたプレゼン報告会を行いました。

交流会では久しぶりに会うスタッフや会員同士の交流が行われ、2017年度の各部が取り組むYMCA活動について発表もありました。最後は平和創作劇「PRAY」を上演しているファンキージャムキッズの子ども達も登場して、木原世有子先生の指導によるレクリエーションダンスで大いに盛り上がりました。ご参加いただきました会員の皆様により感謝申し上げます。

夏の災害復興支援プログラム

第2回 熊本地震復興支援 ボランティアワークキャンプ

2017年 8月23日(水)-27日(日) (4泊5日)



広島YMCA熊本ボランティアワークキャンプは、2016年4月16日に発生した「平成28年熊本地震」の緊急復興支援としてスタートしました。昨年の第1回目のボランティアワークキャンプは、広島をはじめ中国地方の若者や海外からの留学生16名が参加して、8月の後半に行われました。参加の若者は、復興について自分達にできることを見出し、被災地の方々に寄り添うことの大切さを強く胸に刻んだようです。被災地復興の一助となる活動はもちろん、次世代の若者を育てる活動として今年で2回目を迎え、18名の大学生・専門学校生が参加する予定です。

Table with contact information for various YMCA branches across Japan, including Hiroshima, Yamaguchi, and other prefectures.

The YMCA

夏号

No.264 2017 Summer

広島 YMCAの 使命

私たちは、イエス・キリストが示された愛と奉仕の精神をもって、豊かに生きることをめざします。そして、多くの若者が、人々の自然と出会い、異なった文化、多様な社会や価値観と出会いながら、夢や希望、生きる力を培うことを願います。

私たちは、1. すべての若者と共に、一人ひとりの夢の実現に努めます。 2. 共に生き残っていることを、若者やその家族と分かち合います。 3. 地域的視野に立ち、未来に向けて自然や環境を守ります。 4. 健康・福祉・文化の向上に努めます。 5. 幅広い地域の人たちと連携します。 6. 核兵器廃絶を断念し、全ての核兵器の廃絶をめざします。

私たちは、1. すべての若者と共に、一人ひとりの夢の実現に努めます。 2. 共に生き残っていることを、若者やその家族と分かち合います。 3. 地域的視野に立ち、未来に向けて自然や環境を守ります。 4. 健康・福祉・文化の向上に努めます。 5. 幅広い地域の人たちと連携します。 6. 核兵器廃絶を断念し、全ての核兵器の廃絶をめざします。



7月8日 核兵器禁止条約成立を歓迎するための、広島市民団体による共同声明が発表されました。

72年目の平和をつむぐ活動 ユースと平和を考える夏



第57回「Let's Get Together」で11名の中高生をホノルルに派遣します。



第26回「Global Youth Friendship」でハノーバーから6名の高校生を受け入れます。



第39回広島YMCA国際青少年平和セミナーで国内外の若者を受け入れ平和について学びます。

四季の風 (総主事だより) 広島YMCAは一九二八年、前年八月は日中戦争が勃発し、その年の四月には国家総動員法が公布され、日本全体が軍国主義の下に置かれる中、設立されました。...

72年目の夏が来ました。 8月6日にむけて取り組んだこと・取り組むこと

6月1日 「ヒバクシャ国際署名」署名活動を実施

公益財団法人広島YMCAは、「ヒバクシャ国際署名」の協力団体として、平和記念公園・元安橋での署名活動に参加しました。被爆者7団体をはじめとするサポート団体の皆さんも集まり、市民の皆さんに署名の協力を呼びかけました。...



松井一貴広島市長も一緒に被爆者7団体の代表者とともに「ヒバクシャ国際署名」を推進し、市民へのアピールとしてスピーチを行った。

6月8日 「ヒバクシャ国際署名」広島集会

6月8日(木) 19:00~21:00 広島YMCAにおいて「ヒバクシャ国際署名」広島集会が開催されました。広島YMCAは協力団体として会場の提供とスタッフ4名・ユースリーダー4名がお手伝いをしていただきました。...



小演壇理事長スピーチ スティーブリーパー講演会

6月15日 「BAN NUKES NOW」核兵器禁止条約のためのヒロシマ共同行動

核兵器禁止条約のためのヒロシマ共同行動実行委員会によるキャンドルメッセージ「BAN NUKES NOW！」が原爆ドーム前で行われました。6月15日~17日に開催される核兵器禁止条約交渉会議に向けて、市民の手で1000本のキャンドルで「今こそ核兵器禁止条約を」との文字を描き、広島から世界に向けて発信しました。...



市民の手で1000本のキャンドルが並べられ火が灯された。 秋葉前広島市長によるメッセージ「ヒロシマから世界へ」

第26回「Global Youth Friendship」

2017年7月10日(月)~7月31日(月)

1992年に広島市やドイツのハーバー市あるいはその近郊に住む青少年の交流を目的にスタートしました。ロッジキャンプやホームステイをしながら、お互いの国の文化習慣を理解し、お互いを認め合える関係を築いています。...



第57回「Let's Get Together」

2017年7月24日(月)~8月8日(火)

広島市とホノルル市が姉妹都市締結したのは1959年です。その翌年、ホノルル市長が広島YMCAを訪ねたことがきっかけとなり、1961年から広島YMCAとホノルルYMCAは青少年の国際交流を続けています。...



第39回 広島YMCA国際青少年平和セミナー

2017年8月4日(金)~8日(火)

今年で39回を迎える歴史ある平和国際交流プログラム「広島YMCA国際青少年平和セミナー」の準備が進んでいます。広島に限らず、参加者は全国に及び、広島YMCAの海外パートナーシップ(15YMCA)からも多くの若者が参加します。...



市民平和行進

2017年8月4日(金)

平和の願いを市民にアピールし、考えるきっかけをつくる市民平和行進に毎年参加しています。広島県生活協同組合連合会・広島県原爆被害者団体協議会・市民6団体を中心に毎年行われる活動で、スタート地点は福島県立病院前と福荷橋西詰に分かれてスタート。...



第13回 広島YMCA平和の灯ろう流し

2017年8月6日(日) 16:30~

8月6日に広島YMCA平和の灯ろう流しが行われます。YMCAに集う子ども達、ファミリー、国際青少年平和セミナーの参加ユースなど300名が、世界中の子ども達から送られた平和のメッセージで灯ろうを作成。...

